



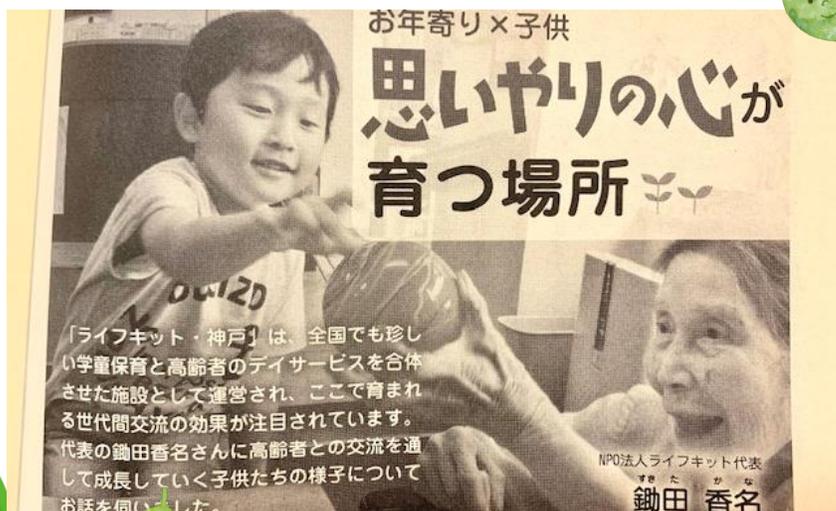
地域福祉と共生社会

～あなたの創る「社会」が、人と自分の「幸福」に繋がる。～

～welcome to learn～



人が寄り添い生きる、専門職もその人である。



『地域福祉と共生社会』

- P 1 : 目次
- P 2 : 教員プロフィール
- P 3 : **なぜ学ぶのか？**
- P 4 : 学習の目的と達成課題
- P 5 : **学習内容①**
- P 6 : **学習内容②**
- P 7 : **共に学ぶ。**
- P 8 : 実施日時・場所
- P 9 : 授業方法とテキスト・教材
- P10 : オンライン学習の学び方
- P11 : 学習評価

特別ではなく「当たり前」を識ろう。そんなお話です。

1

教員プロフィール

愛犬です(^_-) - ☆



担当：

心は20代♡ B型 よく笑いますw 【愛称】

【言語】神戸出身：関西弁が得意です✿

【趣味】テニス キャンプ・音楽鑑賞 【好きなこと】食う、寝る、遊ぶ

【座右の銘】人は人によって育てられる

いっしょにどう？

高齢者との会話が「自発性」と「思いやり」を育てる

核家族化や少子化の影響で、人と関わるのが苦手と言われる最近の子どもたち。コミュニケーション力とはどのように身につくのでしょうか。ここでは、学童保育とデイサービスを合体させ、子どもと高齢者が日常的に触れ合うことを大切にする「ライフキット・神戸」(神戸市東灘区)を訪ねました。

鋤田香名 (ライフキット代表)



各種メディアに登場しました！



地域の中でスポーツチームを作りました

★平成12年から福祉人として歩み続け業界20年を過ぎました。平成21年神戸市において「共生社会」を体現すべく地域事業を独立開業し国内外メディアにその取組が取り上げられ注目を集めました。

これまでの実践から見えた「地域福祉と共生社会」の「形」を後世に残すために学び続行中！よろしく申し上げます(^_-) - ☆

2



Lifekit.KOBE

「共に学ぶ。」

なぜ、学ぶのか。



私たちの国は高齢化や人口減少が進み、地域・家庭・職場という人々の生活領域における支え合いの基盤が弱まってきています。暮らしにおける人と人とのつながりが弱まる中、これを再構築することで、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような社会としていくことが求められています。

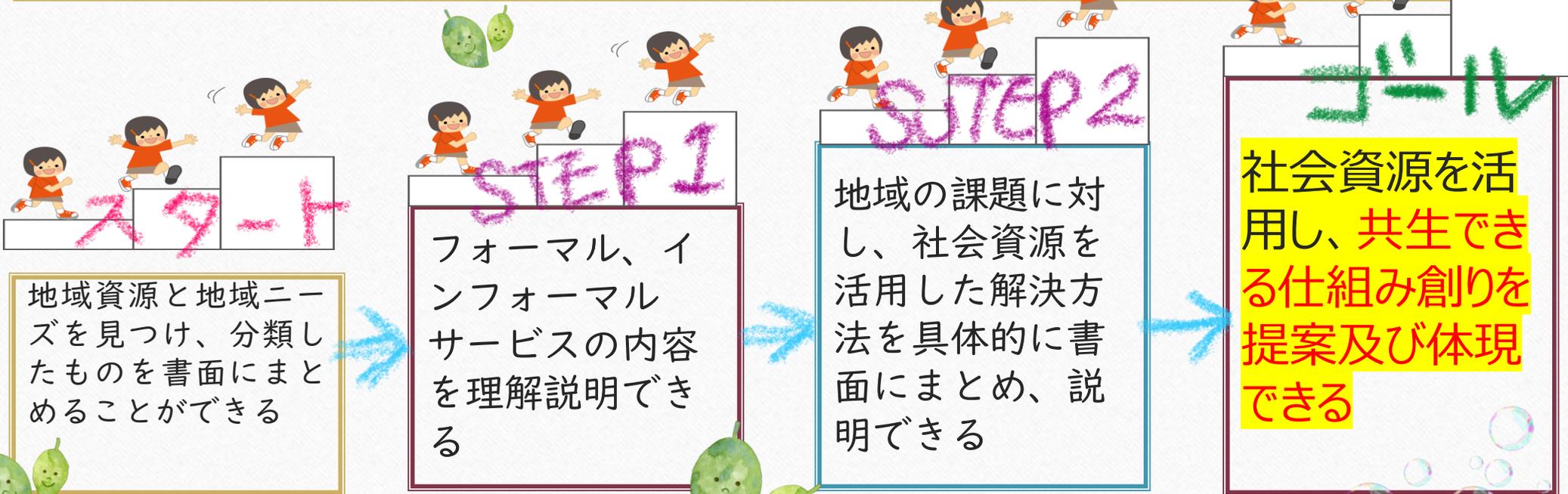
「地域共生社会」とは、このような社会構造の変化や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、**人と人、人と資源が世代や分野を超えつながること**で、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、**地域を共に創っていく社会を目指すもの**です。**福祉を学び、知識の上に経験を重ね、あなたが生きる（生きる）環境で何ができるか。共に学びを深めよう**ではありませんか。

3



学習の目標と達成課題

多様な地域において、地域ニーズ、課題に対し、あらゆる資源を活用した専門的な解決方法を見出し、「共に生きる社会」を創り、人々（住人）と望む暮らしを体現できる専門職の育成を目的とする



みんなで一緒に学ぶことを紹介します

学 習 内 容

提 出 課 題

提出日

単元
1



①

「地域探検と地域の新たな発見！」
： **あなたの町のことを教えて** ください



： 交換日記（先生あのね）

THE
昭和(笑)

②

「地域探検と地域の新たな発見！」
： **あなたの町の資源とニーズ** をまとめてみましょう

： 交換日記（先生あのね）
： レポート課題



単元
2

③

「福祉サービスってなあに？」
： **福祉サービスを知る** ことができる！



： 交換日記（先生あのね）

④

「オリジナル福祉サービスブックを作ってみよう！」
： あなたの町に **どんな資源があるのかな？**

： 交換日記（先生あのね）

⑤

「**オリジナル福祉サービスブックを作ってみよう！**」
： 単元1で記録した資源を分類してみよう

： 交換日記（先生あのね）
： **オリジナルサービスブック**



単元
3

⑥

「オリジナルブックを使用して課題に取り組む」①
： **あなたの町の地域課題** はなあに？



： 交換日記（先生あのね）

⑦

「オリジナルブックを使用して課題に取り組む」②
： あなたの **町の課題を解決するには？**

： 交換日記（先生あのね）



みんなで一緒に学ぶことを紹介します

単元
3

⑧ 「みんなと話合いながら地域課題を考える」
： **他の地域の**課題を知り、**情報交換**をしてみよう

： 交換日記（先生あのね）
： レポート課題

⑨ 「**みんなと話合いながら地域課題を考える**」
： 集めた情報を基に町の課題を解決してみよう！

： 交換日記（先生あのね）

単元
4

⑩ 「町を動かす人になってみよう！」
あなたが町の資源を創るとしたら？何を創るかな？

： 交換日記（先生あのね）

⑪ 「町を動かす人になってみよう！」
： **あなたが創った資源で町が生きる**



： 交換日記（先生あのね）
： 課題「幸せなひとりぼっち」視聴

⑫ 「みんなで考えた社会を形に。」①
： **新しい資源で地域課題にみんなでアタック！**

： 交換日記（先生あのね）

⑬ 「みんなで考えた社会を形に。」②
： グループで**解決資料作成に挑む！**



： 交換日記（先生あのね）

⑭ 「みんなで考えた社会を形に。」③
： グループ発表で**学びを共有**しよう！

： 交換日記（先生あのね）

⑮ 「共生と強制」：
： 学習の振り返りと考察



： 交換日記（先生あのね）
： 最終課題レポート



幸せな
ひとりぼっち



「共に学ぶ」とは

「共に生きる（生きる）」こと。



- この講座は、福祉人としての専門的考察を行い専門職としての知識を学び、その学びを深めようとする方のための講座です。初めて福祉を学ぶ方、地域で活躍している方、社会人、主婦（夫）、学生、障害者、高齢者他、様々な方が受講されています。お互いを尊重し、身近な私たちの生活と照らし合わせながら、**これからの「共生社会」を共に創りあげて行こう**ではありませんか。

～あなたの創る「社会」が、人と自分の「幸福」に繋がる。～



さあっ！一緒にはじめよう！

【授業時間】 毎週月曜日9:30～

【実施場所】 zoomでの開講
詳細はオンライン学習での
学び方を参照してください

【担当講師との連絡】
交換日記w ☒.....@.....





授業方法とテキスト及び教材等

この授業は、アクティブラーニング（グループワーク等）を用い、受講生自身が意欲的に学び、理解を深めます

- ① 物・・・現場の実際（写真：動画）
- ② DVD・・・NHK「おはよう日本」世代間交流（神戸市東灘区）
映画「幸せなひとりぼっち」

Look

- ③ テキスト・
 - ★新しい社会福祉：地域福祉を考える/中央法規
 - ★住民主体の地域福祉論/法律文化社
 - ★介護保険・障害福祉のしくみ/三修社
- ④参考文献
 - ★「いまこそ地域力」：チーム東灘/神戸新聞総合出版
 - ★「スポーツのちから」：合同著者/慶応義塾出版
 - ★「町中が仕事場だった」：白石斎/津山朝日新聞社
 - ★「のびのび子育て」特別版：PHP出版





オンライン学習での学び方



Zoomでの参加について

- ① この講座は、Zoomで参加いただいておりますが、この授業は単に聞くだけではなく「参加」が前提です。
- ② 授業中は映像をオンにしてご参加ください。
- ③ 音声は騒音が入ってしまうと困るので、原則ミュートにしておいていただきたいのですが、状況に応じてすぐにミュート解除できる様にしておいて下さい。
- ④ 講義中に質問や意見等がある場合は、チャット機能を使って質問(意見)を送るか、発言したいという意思表示を行ってください。
- ⑤ 授業中に資料の共有として資料(原則として事前配布)を示す場面が、多々あります。出来るだけ、おおきな画像が見られるか、事前のプリントなどしてしまうかして、使えるようにしてご参加ください。

メールによる情報交換

この授業では、受講生—講師間での、授業用資料の送付やレポート類の提出を、メールに添付文書して送る方法で行います。

そのため、第1回の授業終了後、お手数ですが、受講生皆さんが、この講座の受講で使っているアドレスを、必ず(教員の指定アドレス)に送ってください。その際、必ず「件名」に「お名前」と「学籍番号」をご記入ください。(このアドレスは、受講期間中、講師のみが使用するものとします。受講生同士の意見交換等は是非行っていただきたいのですが、その場合の連絡先の交換は、受講生同志で行ってください。Zoomのチャットなどをご活用ください。)





学習評価



～この学習を学んだ方の評価基準～

① **毎回の評価**
出席状況と提出物

② **最終評価**
最終課題レポート

③ **判定基準**
① 60% / ② 40%

